

「命を守る住環境確保」に関する行政、医療建築の専門家学習会参加のお願い

国土交通省 補助事業

趣旨：

WHO は、Housing and Health Guidelines (2018.11)において、世界中の医学論文に基づき、住まいの冬季最低室温 18°C以上、新築・改修時の断熱工事、夏季室内熱中症対策の推進を各国に勧告しました。わが国ではこれまで住宅と健康に関するエビデンスが不足していたため、国土交通省が厚生労働省と連携して、住生活空間の断熱性向上が居住者の健康に与える影響に関する 2000 世帯・4000 人の全国測定調査補助事業を実施し、現時点までに医学論文 14 編が刊行されました。これらの成果も踏まえ、2023 年 5 月に告示された「健康日本 21 (第三次)」には「建築・住宅等の分野における取組と積極的に連携することが必要」と記載されました。また、2024 年 1 月には、厚生労働省「健康づくりネット」の新設ページ「室温と高血圧、睡眠との関係」にこれらの医学論文成果と住まいの室温チェックシートが紹介されるようになりました。しかし、その内容は医療行政や医療の現場の専門家に周知が十分できておりません。そこで、今回、全国の医療政策に関わる専門家、臨床に関わる専門家の先生方をメインに、趣旨に賛同する医療建築の団体、個人に対する学習会を行うことになりました。

日 時： 2025 年 8 月 20 日 (水) 14：30—16：30 形 式： zoom 配信

参加予定者：

北原加奈子広島県健康福祉局長、西野 誠大阪府健康医療部長、家保英隆全国衛生部会長、山本光昭社会保険支払基金理事、清水恵一郎東京都内科医会会长、今村聰元日本医師会副会長、鈴木邦彦日本医師会元常任理事、小林百代日本薬剤師会理事、古谷誠章日本建築士会連合会会长、望月俊彦日本住宅リフォーム産業協会会长、細木正盛住生活リフォーム推進協会会长他

次第案：

1 主催者挨拶 一社) 健康省エネ住宅を推進する国民会議 理事長 上原裕之

2 講演 1 早朝高血圧の循環器リスクと室温の関係：住まい方で冬季死亡が減るか？ (30 分)
自治医科大学内科学講座循環器内科学部門 荏尾七臣教授 (日本高血圧学会理事長)

3 講演 2 住宅断熱改修前後調査と 5 年追跡調査の分析結果(30 分)

(一財) 住宅・建築 SDGs 推進センター 伊香賀俊治理事長 (慶應義塾大学名誉教授)

4 主な事前質問への回答紹介 (事前質問受付)

5 意見交換

6 閉会の挨拶 一般社団法人東京内科医会会长 清水 恵一郎

申し込み) 国民会議事務局へ「8 月 20 日 zoom 学習会参加希望」とメールをお送りください。

事務局から参加 zoom アドレスをおおくりします。

事務局のアドレスは milk@sickhouse-sa.com です。